

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類														
原子炉建屋内	RB	1	① 時間													
タービン建屋内	TB		② 距離													
R ZONE	R		③ 遮へい													
Y ZONE	Y		④ 線源の除去													
G ZONE	G		⑤ 遠隔、ロボット化													
その他 ()	Z		⑥ 汚染拡大防止													
			⑦ その他													
		番 号	30-01-02													
内 容		正確な被ばく線量算出を目的とした放射線管理情報収集方法														
作業場所		3号機 原子炉建屋														
概 略		被ばく低減対策を含む工事計画策定や除染などの工事成果を正しく評価するための放射線管理情報収集とその活用														
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後												
		被ばく線量(mSv)	--	--												
		人工数(人日)	--	--												
事例詳細																
対策前 被ばく予測をするにあたり、点情報(2次元)を用いて計画策定を行っていた。																
対策内容 より正確な情報収集として、線源位置の特定や3次元情報などの活用が可能となってきた。																
RISER <table><tr><td>検出器</td><td>CZT半導体検出器 ~2500mSv/h</td></tr><tr><td>寸法</td><td>W930×D830×H160mm</td></tr><tr><td>重量</td><td>約4kg</td></tr><tr><td>飛行時間</td><td>約15分</td></tr><tr><td>カメラ</td><td>HDカメラ2台 (前方、下方)</td></tr><tr><td>搭載センサー</td><td>LRF (垂直、水平)、加速度センサー ジャイロセンサー</td></tr></table>					検出器	CZT半導体検出器 ~2500mSv/h	寸法	W930×D830×H160mm	重量	約4kg	飛行時間	約15分	カメラ	HDカメラ2台 (前方、下方)	搭載センサー	LRF (垂直、水平)、加速度センサー ジャイロセンサー
検出器	CZT半導体検出器 ~2500mSv/h															
寸法	W930×D830×H160mm															
重量	約4kg															
飛行時間	約15分															
カメラ	HDカメラ2台 (前方、下方)															
搭載センサー	LRF (垂直、水平)、加速度センサー ジャイロセンサー															
■3号機 原子炉建屋 1~3階 線量率の測定結果 ■3号機 逆洗弁ピット 線量率の空間分布 (1m高さ) <table><thead><tr><th>測定点</th><th>RISERによる 評価結果</th><th>サーベイメータによる 測定結果</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>0.6</td><td>0.5</td></tr><tr><td>B</td><td>0.6</td><td>0.6</td></tr><tr><td>C</td><td>0.8</td><td>0.7</td></tr></tbody></table> (単位: mSv/h)					測定点	RISERによる 評価結果	サーベイメータによる 測定結果	A	0.6	0.5	B	0.6	0.6	C	0.8	0.7
測定点	RISERによる 評価結果	サーベイメータによる 測定結果														
A	0.6	0.5														
B	0.6	0.6														
C	0.8	0.7														